

6 - 2 九州南部における上下変動

Vertical Crustal Movement in Southern Kyushu District

国土地理院 測地部
Geodetic Division, Geographical Survey Institute

1976年5月より8月にかけて実施した1等水準測量による九州南部における上下変動が図1～4に示される。

九州南部東岸では、1968年4月1日日向灘地震 ($\phi=32.3^\circ$, $\lambda=132.5^\circ$, $M=7.5$) 及び1970年 $M=6.7$ ($\phi=32.1^\circ$, $\lambda=132.0^\circ$) の地震が発生しているが、第4図下段の変動図 (1968_{7~8} - 1962_{8~10}) には35kmにわたる凸型の異常変動また上段の変動図 (1976_{6~8} - 1968_{7~8}) のこれに相反的な凹型の変動は、震源地が遠いことからこれら地震に対応した変動というよりも測量に伴う誤差とも考えられる。

尚上段の図中佐土原町にみられる落ち込みは、盛土によるものと考えられている。

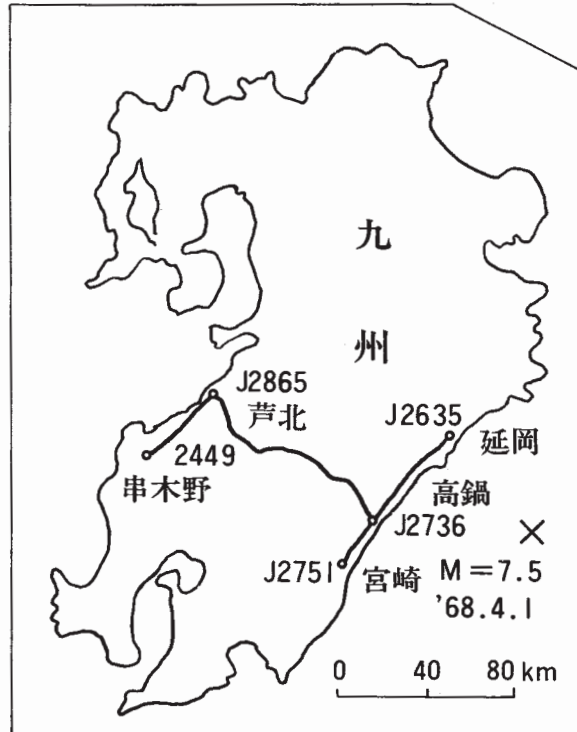


図1. 九州地方南部水準路線図

Fig. 1 Levelling route map in Southern Kyushu district.

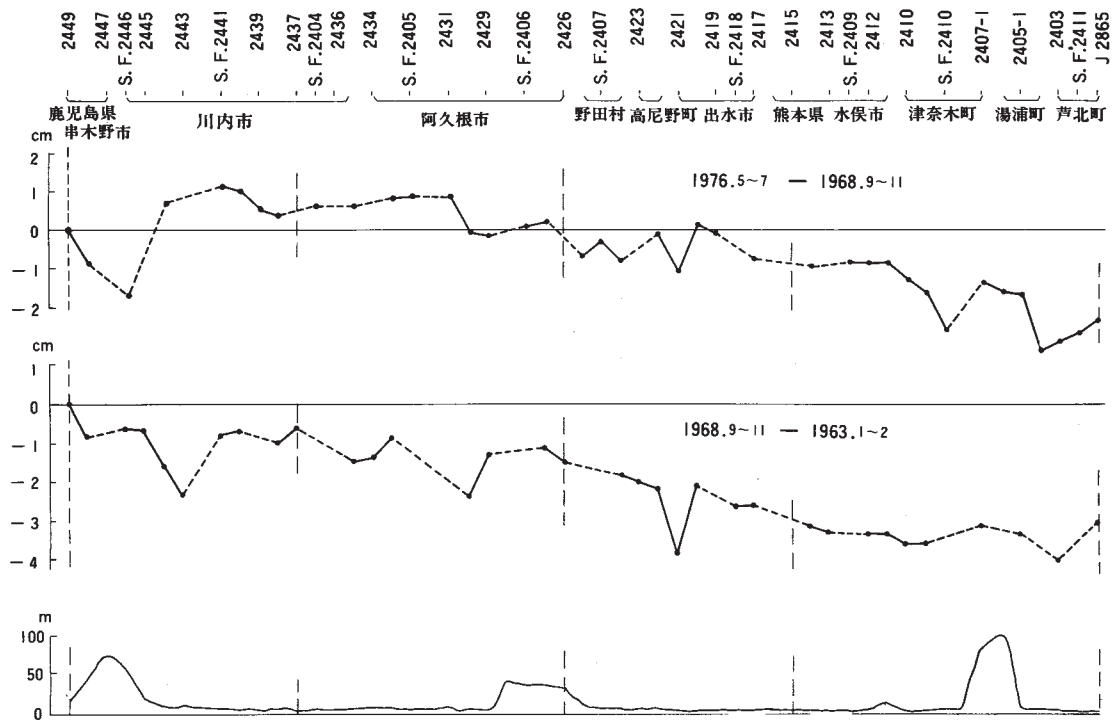


図2. 串木野～芦北間の上下変動

Fig. 2 Vertical movement between Kushikino and Ashikita.

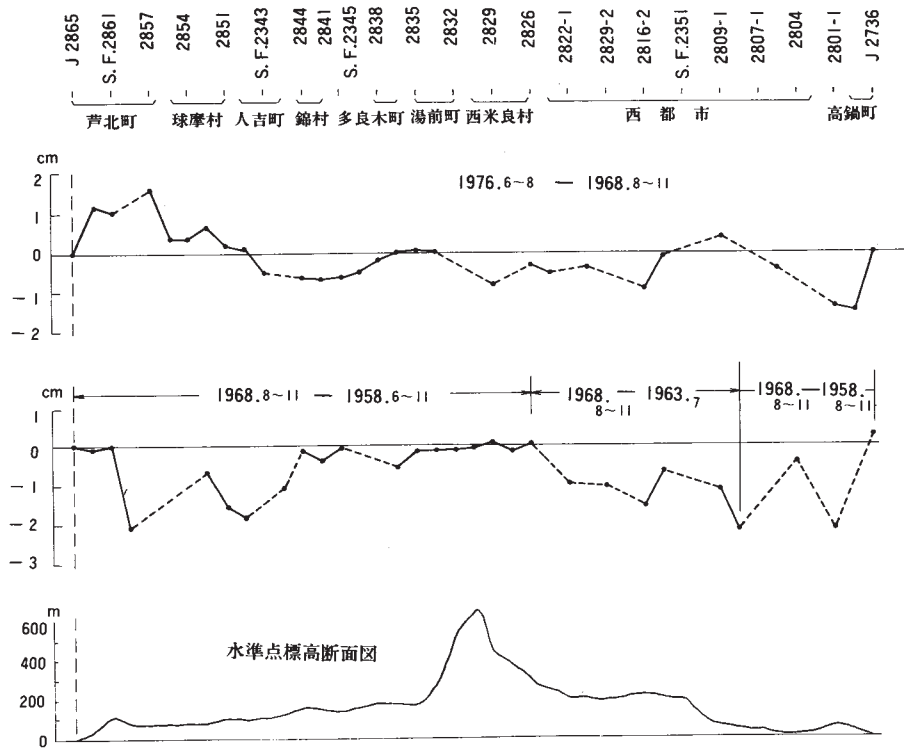


図3. 芦北～高鍋間の上下変動

Fig. 3 Vertical movement between Ashikita and Takanabe.

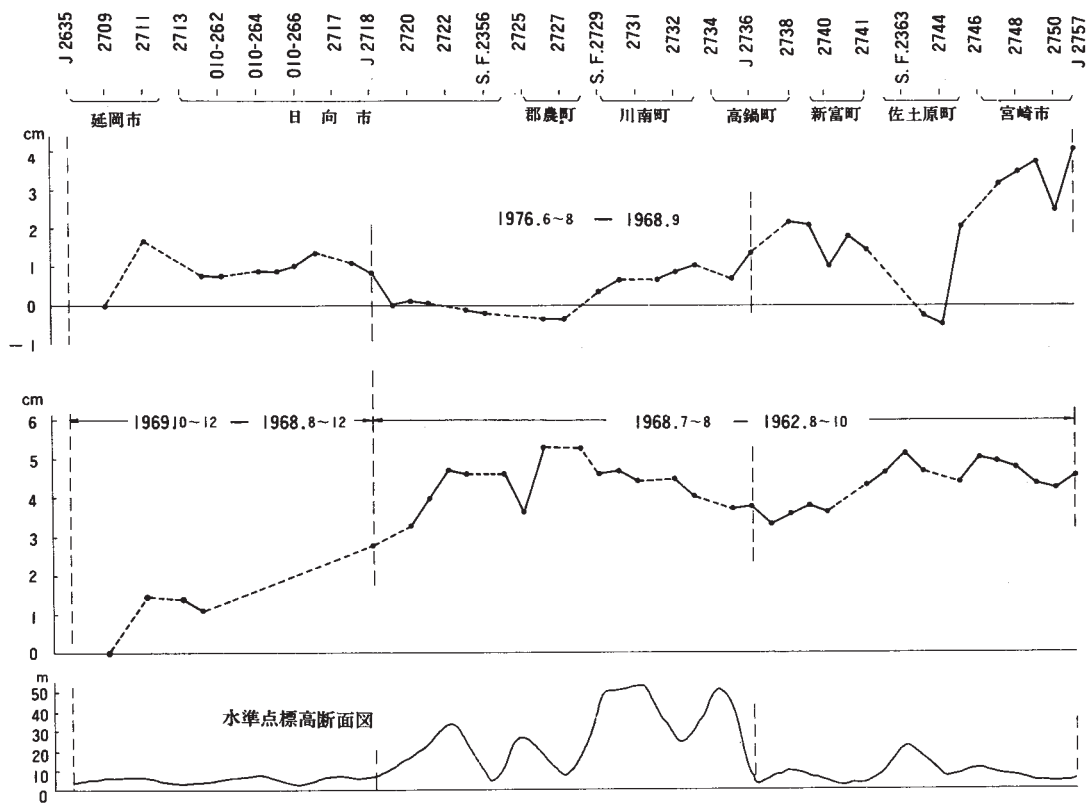


図 4. 延岡～宮崎間の上下変動

Fig. 4 Vertical movement between Nobeoka and Miyazaki.